

国内標準委員会 令和5年度上期報告

1. 委員会構成及び活動概要：

- 1) 委員会構成は、委員長 高橋 弘 先生（国立大学法人東北大学大学院教授）、中立者（委員長含め）5名、生産者5名、使用者4名、事務局4名の計18名。
- 2) 今年度上期の主な活動概要は以下の通り。
 - ・ JIS 原案作成の分科会を開催し、令和5年度の JIS 原案作成(2件)について審議し、今後の JIS 原案作成計画についても協議した。
 - ・ 日本規格協会（以下、JSA とする）の調査依頼に沿って、JIS 5年見直しの内容を精査し対応を決めた。
 - ・ 当協会の団体規格 JCMAS H 023 について、改正の要望があり改正手続き開始した。

2. JIS 原案作成関連：

1) 令和5年度上期 JIS 原案作成状況：

JSA の JIS 原案作成公募制度（2023年度区分 A）に応募した下記2件について、9月1日、国内標準委員会の分科会を開催して原案を精査した。今後、分科会で出た修正案を原案に反映して本委員会で審議して承認を受ける予定。

- ・ JIS A 8308 土工機械－基本機種－識別及び用語（改正）
- ・ JIS A 8423-1 土工機械－グレーダー－第1部：用語及び仕様項目（改正）

2) 令和5年度下期の予定：

a) JIS 原案作成公募制度（2023年度区分 C）に応募した下記原案について、今年10月～来年5月の期間で原案を作成する予定。

- ・ JIS A 8341-2 土工機械－機能安全－第2部：機械制御系の安全関連部のハードウェア及び構成の設計及び評価

b) JIS 原案作成公募制度（2023年度区分 D）に応募した下記2件について、JSA の審査後、2024年1月～8月の期間で原案を作成する予定。

- ・ JIS A 8341-3 土工機械－機能安全－第3部：制御システムの安全関連部に使用される電子及び電気構成部品の環境性能及び試験要求事項
- ・ JIS A 8341-4 土工機械－機能安全－第4部：制御システムの安全関連部のためのソフトウェア及びデータ通信の設計及び評価

3) 令和4年度に原案作成した JIS（4件）の発行予定：

昨年度、JIS 原案作成公募制度（2022年度区分 A）で原案作成した下記4件について、今年7月に JSA から経済産業大臣へ申出を行っており、審査後、年内に発行される見込み。

- ・ JIS A 8340-2 土工機械－安全－第2部:ブルドーザの要求事項（改正）
- ・ JIS A 8340-3 土工機械－安全－第3部:ローダの要求事項（改正）
- ・ JIS A 8408 土工機械－遠隔操縦の安全要求事項（改正）
- ・ JIS A 8919 土工機械－操縦装置（改正）

4) JIS 5年見直し：

当協会が原案を作成した JIS のうち、令和6年度に5年見直し時期となる案件（13件）

について、JSA の調査依頼に沿って、当協会の国内標準委員会、各技術委員会の要望を調査した。結果、9 件を「確認」とし、4 件を「暫定的確認」として、9 月中旬 JSA へ回答した。暫定的確認の 4 件については来年 1 月までに対応を確定する予定。

3. 団体規格 JCMAS 関連：

当協会の団体規格「JCMAS H 023 ラフテレーンクレーン作業燃料消費量試験方法」について、現行規格は燃料エネルギー駆動形に限定されている内容であり、今後、ラフテレーンクレーンもハイブリッド化、電動化が見込まれるため、機械部会の建築生産機械技術委員会から、ハイブリッド形、電気エネルギー駆動形の試験方法を追加するように改正の要望があり、建築生産機械技術委員会が作成した改正原案を基に改正手続き開始した。

以上